

## 文京区新たな公共プロジェクトプロジェクト一覧

年度	No.	区分	プロジェクト名	実施団体	プロジェクトの概要	備考
平成 25 年度	1	プロジェクト支援 制度支援プロジェ クト	地域ブランド「文人郷（ぶん じきょう）」構築による地域 連携事業	NPO法人街ing本郷	本郷には多くの文人がいたことで有名である。また、その文人は全国各地に足跡を残している。各地域は独自に文人を使ってブランディングをしているが、各文人が集まるハブとして本郷で文人のブランディングをし、地方と文京区が共に協同しながらブランディングする新しい地域ブランディングの企画を進めている。文人が、東京文京区と地方の「交流大使」を担い、多くのつながりを持った地域ブランディングになっていく。また、東京が一人勝ちする構図ではなく、地方も同じように利益をもたらす構図を考えていく。	
	2		文京映画交流クラブ	文京映画交流クラブ	文京アカデミーの保有する日本及び海外の名作映画を再活用する。名作映画を鑑賞することにより得られる「感動」を人に伝え、人と分かち合い、住民同士の交流を深めることを目的とする。人とのつながりを取り戻すにはどうしたらよいか？と考えた時、「映画」という切り口は、十分にそのきっかけを果たせると確信している。	
	3		ハッピーファミリープロジェ クト	子育てkitchen	孤立した育児環境の打破。台所育児のやり方を、実践を踏まえて理解してもらう。子どもの「やりたい時期」を逃さず、家族の一員としていろいろやってもらうことで、お母さんも楽になるし、子どももやれることが増えて自信がつく。食に対して意識が深まり、食育や将来の個食を避けることにもなる。親同士が話したり聞いたりすることを通して「幸せに子育てをする」場を提供していく。	
	4	プロジェクト支援 制度登録プロジェ クト	ご近所やさい	ご近所やさい	都市の住宅街に野菜の「直売所」を設け、消費者と生産者を直接つなぐ。 消費者：無農薬・減農薬の旬野菜を提供農家から直送しているため（中間業者等をはさまない）比較的安い価格で提供 生産者：農協や小売店より高く仕入れる（生産者の収入増にも貢献） 店舗は民家のガレージの一角、営業時間外のレストラン、惣菜店の一角など活用されていないスペースを使用 販売スタッフは、レストランや惣菜店スタッフ、ボランティアスタッフ	
	5		文京アスリート大会	NPO法人小石川	誰もが参加しやすい「陸上大会の開催」 （目的）：現在文京区には区民陸上大会がありません。陸上は全てのスポーツの基本です。陸上大会を開催することで、区民の方の健康増進を図るとともに、陸上を体験し面白さを知って頂き、何かスポーツを始めるきっかけとなる。また、普段スポーツを行っていない人が、自分の体力を再確認する。さらには、文京区の資産である大学との連携も図り、地域と大学、地域と学生のコミュニケーションの活性化を図るとともに、学生の社会参加を促すきっかけとなる。	
	6		地域密着型介護・保育プロ ジェクト	株式会社ツリー・アン ド・ツリー	介護問題、待機児童問題、高齢者の孤立、世代間の断絶といった課題を地域密着型の介護サービス、学童保育を融合させることで解決の一歩を提供する。 地域の高齢者を雇用し、介護、学童保育を地域密着な自然な形で提供することで、介護利用者にとって児童との交流による自然なリハビリ、生きがいを見出す場を実現する。学童利用者は高齢者との触れ合いを通じ、若いへの敬意、地元への愛着、高齢者の知恵を教授する機会を、リーズナブルな保育料で享受する。	

年度	No.	区分	プロジェクト名	実施団体	プロジェクトの概要	備考
平成 25 年度	7	プロジェクト支援 制度登録プロジェ クト	文の京囲碁交流サロンプロ ジェクト	文京区囲碁指導者連絡会	囲碁を通して共働き世帯やマンション住まいの新住民の子どもの安全な居場所づくり、区内 成人・高齢者との囲碁の交流を通して楽しい時間を過ごして頂く「文の京囲碁交流サロン」 の開設、また囲碁入門講座を開催する。そのためには、多くの囲碁指導者が必要であり、区 内大学囲碁部学生や区内高段者の支援、日本棋院の学校囲碁指導者講習会により子育てママ を学校囲碁指導者に育成して有料で囲碁交流サロンに雇用する。3年後を目指して、日本棋 院、教育委員会及び社会福祉協議会と協働して、区内各所に常設の「文の京囲碁交流サロ ン」の開設、及び「文京囲碁子どもまつり」を開催して、囲碁を通して世代間交流が生まれ る楽しい地域コミュニティづくりを目指す。	
	8		コミュニティ就労文京プロ ジェクト	コミュニティ就労文京プ ロジェクト実施チーム	社会的排除に遭い孤立無援な状態に置かれている人々が、自分らしく無理のない形での継続 的な社会参加ができることを目指す事。NPO法人、ボランティア団体、企業を対象にシンポジ ウム・セミナーを開き、私たちが抱える当事者との関係づくりを進め、中間的就労の受け入 れ先との関係づくりを深める事を進めていく。 誰もが何度でも再挑戦することができる、その人らしい社会参画の場の創出、多様に受け入 れられる成熟したコミュニティを築く仕組みづくりをすることを目指す。	
	9		街の和文家の心・温故知新プロ ジェクト	keep-kimono-life文京	日本人の生活スタイルの変化は、たとえば着物姿の激減に象徴的だが、着物をはじめ和文化 のモノは単なるモノでなく、日本人が古来育んだ独自の価値観と切り離せない。西洋文明の 意識から生じる数々の社会問題も、和の心に根ざした思いやりや地域のローカルなやさしさ によって解決できるものが少なくないと思われる。よって、和との親和性が高い文京区か ら、華やかで活気に満ちた人間交流のある街づくりをするために欠かせない、人の和文化の 心を、風習の伝承活動やイベントを通して後世へ残す。具体的に、着方レッスンの常時開催 のほか、新たなオリジナルの試みとして、年4回の「きもの日」イベント等を行う。	
	10		武道（スポーツ）によるコ ミュニティ作り	TEAM 空	コミュニティを区内のイベントに協賛する機会を作り露出する機会を増やす。具体的な施策 としては、以下を行う。 <施策1> ・既存コミュニティが簡単に利用できる活動紹介サイトを提供する（Pull型） ・情報誌を発行し、積極的にネット利用者以外にも情報発信をする（Push型） <施策2> ・空手を学び身体を動かすことで子供と大人、子供同士、大人同士、家族と家族などの絆を 深める ・同じく単身の方や別世代との交流が生まれ、地域コミュニケーションが活性化する	
	11	社会起業アクシ ョン・ラーニング講 座受講生のプロ ジェクト	文京区の再生としての事業		区内にある古い施設等をリノベーションし、社会的な価値を高める。	
	12		産地と消費者の美味しい関係 づくりと商店街の活性化		文京区の商店街の活性化（地方中山間地域の1次産品の直売所などによる）	

年度	No.	区分	プロジェクト名	実施団体	プロジェクトの概要	備考
平成 25 年度	13	社会起業アクション・ラーニング講座受講生のプロジェクト	シェアすることでつながるコミュニティの場づくり		コミュニティカフェの運営を通じて、物だけにとらわれない、個人のスキルのシェアなどをマッチングすることによって新しい価値を生み出す。	
	14		休日のパパのコミュニティをつくる		地域振興のコンサルティングをしていた経験をもとに、産業振興を中心とした地方復興プロジェクトを展開する。	
	15		人の魅力を引き出す地域コーディネーターの育成		地域の人のやる気を引出し、人と人をつなぐスキルをもつ、地域コーディネーターを育成し、魅力ある地域コミュニティをつくる。	
	16		地域デビュー応援隊・・・街にタダ住む人だけの人の背中を一緒に押しましよう		町会活動や消防団活動を担っている経験から、多くの地域の人に地域活動に参加してもらうための仕掛けを行うプロジェクト	
	17		思い出ラボ～高齢者の所蔵写真の収集を通じた人と街の記録の蓄積		家庭にある紙焼き写真（フィルム写真）を提供してもらい、それをデータ化しWEBで公開することで、写真資料の価値を社会全体で共有する。	
	18		HOLISTIC HEALTH～自然と調和して健やかに生きる～		ホリスティックヘルスは、環境と調和しながら心も身体を健康にするという概念で、区内には緑が多くこれを活用して、住む人、来訪者をまるごと元気にする。	
	19		文京かるたでつながろう～文京区の郷土かるたの製作及び普及による地縁づくり		文京区の郷土かるたを、みんなで作り、みんなで遊ぶことを通じて、地域のつながりをつくる。	
	20		文京元気まつりプロジェクト		病や障害などの理由で社会的弱者となっている人を対象にネットワークを組むことによって、生きやすい世の中や仕事を創出する。	
	21		本郷いきぬき工房～大災害を生き抜く力と息抜く居場所・縁つむぎ		阪神淡路大震災での経験を基に、地震発生後「72時間」に着目して生き埋めで亡くなる人をゼロにするプロジェクト	
	22		現役サラリーマンによるアフタースクール「実践塾」		サラリーマンパパ達が、サラリーマンだからこそそのスキルやネットワークを活用して、子供たちと触れあいながら、放課後や休日を楽しく過ごすプロジェクト	

年度	No.	区分	プロジェクト名	実施団体	プロジェクトの概要	備考
平成 25 年度	23	社会起業アクション・ラーニング講座受講生のプロジェクト	社会験学アフタースクール～子どもたちが会社の魅力を体験し、社会に伝えます～		子どもたちが自ら紹介された職場や職業の魅力を発見し、子どもならではの視点で「仕事」をみて考えることを通じて、子供たちが自分のキャリアについて真剣に考える機会とし、「生きる力」を身に付けさせる。	
	24		兼業ママワークショップ&子育て情報事業		仕事と子育てという2軸だけで、女性をポジショニングするのではなく、地域参加や趣味、勉強など女性の生き方を再認識するワークショップを展開する。	
	25		まちの暮らしを喜び・楽しむ「まちのLDK」@小石川		共働きの子育て世帯などを対象に、子どもと地域の人が交流できる場所「街のLDK」をつくり、心豊かな子どもの成長とサポートする地域の人の生きがいをつくる。	

年度	No.	区分	プロジェクト名	実施団体	プロジェクトの概要	備考
平成 26 年度	1	プロジェクト支援 制度支援プロジェクト	ハッピーファミリープロジェクト	子育てkitchen	孤立した育児環境の打破。台所育児のやり方を、実践を踏まえて理解してもらい。子どもの「やりたい時期」を逃さず、家族の一員としていろいろやってもらうことで、お母さんも楽になるし、子どももやれることが増えて自信がつく。食に対して意識が深まり、食育や将来の個食を避けることにもなる。親同士が話したり聞いたりすることを通して「幸せに子育てをする」場を提供していく。	25年度からの継続支援
	2		地域版フューチャーセンター &心地よく暮らし、はたらく Loco-working拠点「文京版 cococi」立ち上げプロジェクト (cococi2000)	株式会社Polaris	文京区は共働き家庭が多く、子育てをきっかけにした地域とのつながりが希薄な状況であり、地域の子育て世帯も私学への進学を選択するケースも多く、同様に地域との接点が少ない状況である。仕事をきっかけに地域につながるを産み出すシゴト軸のコミュニティ“cococi”を立ち上げることで、文京に暮らし、働く女性たちの地域とのつながりの希薄化を解決する。また、地域の事業者と連携し、地域人材とともに新しい価値を生み出し、地域経済の活性化も目指す。さらに、評価モデルの構築もあわせて実行し、“cococi”が産み出す社会的価値の測定を可能とする。	
	3		échelle (エシエル) プロジェクト	échelle	子育て中のママが将来のライフビジョンを客観的に描けるように、社会との接点を持つきっかけ作りとなる体験型教育支援プログラム（インターンシップや社会科見学に類似）を展開し、ママ自身の好奇心を満たす場を提供する。自分軸を持ち、子育てや仕事を楽しまつつ自分自身として輝くママを増やすため、就業機会の獲得をはじめとした社会との接点を持つ機会をつくり、ママの視野を広げることで子供にとってよりよい未来を作る新しい子育て支援を作っていく。	25年度社会起業アクション・ラーニング講座受講生のプロジェクト (No.24)
	4	プロジェクト支援 制度登録プロジェクト	「子育て」を地域で支える 「寺小屋キッズ文京」プロジェクト	文京区囲碁指導者連絡会	放課後の児童に対して、囲碁・英語学習の場を提供することを通して共働き世帯やマンション住まいの新住民の子どもたちの居場所を確保するとともに、その運営の担い手として地域のアクティブ・シニアを育成し、地域ぐるみで「子育て」を支える仕組みづくりを区内全域で展開することを目標とする。	25年度プロジェクト支援制度登録プロジェクト (No.7)
	5		地域コミュニティ情報共有の 仕組み創りプロジェクト	TEAM 空	新規でプロジェクトを立ち上げても、十分に周知することが出来ない。既存のさまざまなコミュニティや仕組みが存在するが、その活動内容が十分に受任者（受けたい方、参加したい方）に伝わっていない。一方、地域の商店や個人経営などの企業は、その存在や価値を十分に地域の人々に伝えるノウハウやリソースを保有していない。これらの地域のみなさんを結び付けて、みなさんで情報共有できる仕組みを作る。	
	6		文京いきぬきプラットフォームの構築	本郷いきぬき工房	「大震災をみんなで生き抜く」ことを目的に、文京区内の19大学、高校や企業・商店会、地域の町会、避難所運営協議会、マンション自治会、医師会、消防団等の災害時のステークホルダーがつながるプラットフォームを造り、産官学民が連携した地域活動を展開することで、平時から楽しみながら助け合える関係性を構築する。具体的な成果としては、最初に本郷地区における大災害時の「生き埋め犠牲者ゼロ」となることに着手し、やがては多地域展開を目指していく。	25年度社会起業アクション・ラーニング講座受講生のプロジェクト (No.21)
	7		「文京かるた」製作・普及プロジェクト	文京かるた隊	文京区に不足している地域住民としての多様なつながりを産み出すため、『ザ・文京かるた(仮称)』を区内のさまざまな組織・団体と連携して製作、販売する。学校、高齢者施設、マンション集会場をはじめとした場で『ザ・文京かるた』で遊び、人をつなぐ、かるたワークショップを開催する。地域への興味を喚起するとともに参加者間のつながりづくりを促す。また、かるた裏面は、つながりづくりや地域課題解決を目指す組織、団体の活動紹介記事を掲載し、定期更新することで、かるた購入とつながりづくりを促進する。	25年度社会起業アクション・ラーニング講座受講生のプロジェクト (No.19)

年度	No.	区分	プロジェクト名	実施団体	プロジェクトの概要	備考
平成 26 年度	8	プロジェクト支援 制度登録プロジェ クト	地域密着型ミュージックファ シリテーター養成プロジェク ト	株式会社リリムジカ	文京区が潜在的に有する音楽のリソースを高齢者の地域参加および地域活性化のために活か すプロジェクトを提案する。 株式会社リリムジカは、介護を必要とする高齢者の生活の質を高めるために、音楽家 (ミュージックファシリテーター)を介護施設に派遣する事業を展開している。これまで も、文京区の介護施設に対するサービス提供の実績があるが、今回は、その経験を活かしつ つ、より地域に根ざして活動する音楽家の育成と、彼ら/彼女らの力によって、高齢化や核 家族化の進む文京区内に、地域コミュニティのつながりと交流を深める音楽の場づくりのモ デル事業をつくっていく。	
	9		文京子育てサポートステー ション	ひよこ教室	地域の子育て中の家族が必要とするサポートを地域の様々な分野の人材を連携して支援し、 気軽に相談できる場所作り。特に障がい児と健常児の関わり場の場所作りを進め、障がいに対 しての理解を深めていく。	
	10	社会起業アクシ ョン・ラーニング講 座受講生のプロ ジェクト	自分探検Lab(自分探検研究 所)		キャリア教育×ライフデザイン×ファイナンシャルプランニング=自分らしい生き方を実現 小学生から大学生まで(若しくは第2新卒者)が、職業(ものづくり～販売)を経験してい くような場づくり。職業体験出来るようなセカンドスクールづくり	
	11		子どもたちが社会に出てい くためにお父さんができること		「子どもとネット依存」「子どもとスマホ」をテーマに、地域医療の観点から「ネット断 食」「デジタルデトックス」の実践と効果を探る。	
	12		脳を耕せ!Da Vinci(ダビン チ)キッズ育成プログラム		運動・食事・知育のいずれをも充実させた保育施設を、働く親が預けやすい立地場所に作 る。	
	13		通信制高校学習センター		世間の言う「学校」に行けない入れない子どもたちに学ぶ場(語学教育、留学サポートな ど)を提供	
	14		文京アートプロジェクト		ワークショップのコーディネート、ものづくりを好むシニアの活動支援と場づくり、地域資 源の活用(ものづくりのアップサイクル)、対話型鑑賞の実践	
	15		BUNNKYO TALK E R文の京の地域課題&情報 シェアサイト		「対話から始める豊かなまちづくり」を実現する文京区民提言型地域ソーシャルメディア	
16	文の京 Regi o c a t i o n		文京区のお店や会社をもりあげて紹介。会社等は会社の運営や子供達にやりたいなりたいを 考えてもらうきっかけになるインタビューも考案中。お店や会社を紹介する文京区のプロ グ、ホームページの作成			

年度	No.	区分	プロジェクト名	実施団体	プロジェクトの概要	備考
平成 26 年度	17	社会起業アクション・ラーニング講座受講生のプロジェクト	「明るく健康に歳を重ねる」お灸を使ってセルフケア		鍼灸を通じて地域の方々の心得の健康をサポートし、コミュニケーションのツールとする。	
	18		10代の女の子、20代の女性のハッピープロジェクト		「女性のエンパワーメント」をキーワードに、働く女性を応援する事業（既存の事業例が多数ある「子供・家族を持つ女性」ではなく、主に20代の「働く独身女性」をターゲットにする）、性教育の普及（例：避妊方法や病気に関わる正しい知識の普及、婦人科検診の習慣化、薬局等におけるピルの一般販売等）	
	19		中高年女性のマイライフプラン見直しサポート		育児に一段落した中高年女性が、住まいに近い場所で生きがいを持てる仕事に出会い、労働市場の担い手になれるためのサポート	
	20		小石川植物園サポーターズクラブ		本が好きな人が、ゆったりと過ごせる時間と空間づくり。小石川植物園のサポーターを増やし、区民の手で盛り上げていく。	
	21		Project BAR（文京[Bunkyo]区の空き家[Akiya]を再生する。）		空き家対策対応、子供達への経済のしくみやマーケティング企画を通しての、物やお金の大切さを理解してもらう。	

年度	No.	区分	プロジェクト名	実施団体	プロジェクトの概要	備考
平成 27 年度	1	プロジェクト支援 制度支援プロジェ クト	ブランクではなくギャップイ ヤー！～ライフイベントによ る長期休暇がキャリア中断に ならない文京区をつくる～	NPO法人ArrowArrow	これまで、産休、育休、介護休業などライフイベントに伴う長期休暇や時短勤務は、制度的に認められていても、現場では「第一線で働くのが難しい」と扱われたり、本人も「周りに迷惑をかけている」と考えてしまいがちであった。それが休暇のとりづらさ、出産での退職にもつながっている。本プロジェクトでは、働く人の出産、育児、介護などが、働く人にも会社にも大切な時間とすることができる中小企業を文京区から日本に広げることを目指して、企業（組織）と従業員（個人）が互いに何ができるか、を伝え・共に考える「コーディネーター」を育成する。	
	2		ぶんきょう・いんぐれす	ぶんきょう・いんぐれす	史跡が多く知的レベルの高い人たちが集まる文京区は、Googleマップを利用したGPSゲーム「イングレス」を楽しむ人たちの絶好の遊び場となっており、街を歩くことによって人と人とが繋がりはじめている。それを活かして、若者やネット住民が地域と接点を広げることにより地域問題解決を、「観光・集客」「健康促進」「世代間交流」に焦点を絞って活動する。ゲームによって街を歩くこととイベントを実施することで、プレイヤーと地元住民が交流し、地域特有の課題を発見し、解決していく。	26年度社会起業アク ション・ラーニング講 座受講生のプロジェク ト（No.11）
	3		まちのキャッチフレーズ、 創って使い倒してずっとつな がるプロジェクト	文京かるた隊	新住民が地元を知らず愛着やつながりがない等の課題解決に向け ・文京区の著名な事項・地理・歴史・人物などについての「町の100キャッチフレーズ」を複数イベントとコンテスト方式を創りあげる。 ・コミュニケーションツールとして紙カードゲーム(b-caruta)・Webサイト・冊子を作成する。 ・ワークショップ、カードゲーム大会、町歩きなど家でも町でも使う機会を増やし、共通言語として使い倒す（町会イベント、商店会、学童保育、高齢者施設等）。 ・地域の人とのつながりとともに楽しい思い出として記憶され、キャッチフレーズが浸透、未来へと世代や時間軸をこえて、地元意識を形成する。	26年度プロジェクト支 援制度登録プロジェク ト版（No.7）
	4		「ようこそサカミチin文京 2023」（減災連携ステイクホ ルダーミーティングのモデル 化とサカミチ観光開発事業）	本郷いきぬき工房	首都直下地震がオリンピック・パラリンピック開催中に発生しても全員が無事に助かることを目指し、防災・減災のための対話の機会の創出とサカミチ観光開発事業の2本柱としたサービスのパッケージ化を実施する。具体的には、首都直下地震の発災直後72時間、公助が不足するなかで、近隣の企業・大学・商店・町会・住民等、「新たな公共の担い手」達が近隣エリアで救助し合えるような連携体制をつくるため、産官学民による「減災連携ステイクホルダーミーティング」の型を作っていく。また、平時において、楽しく前向きに救助の担い手を養成することを目的に、文京区の観光資源でもある情緒豊かなサカミチでの「観光×防災×心のバリアフリー」を事業化することを通じ、世界でいちばん心豊かなサカミチが文京区に生まれ、やがて世界に展開できるモデルづくりを目指す。	26年度プロジェクト支 援制度登録プロジェク ト版（No.6）
	5	プロジェクト支援 制度登録プロジェ クト	頭と心と体を鍛える ダビン チ・キッズ プログラム	ダビンチ・キッズ	子供の貧困の連鎖が社会問題化している中で、格差の下層に行ってしまった子供を救う対処療法ではなく、差がつく前の段階にいる子供たちを対象にした、いわば予防接種的なプロジェクト。運動と脳科学に基づいた学習（ドーマン法）で、親に依存しなくても、子供自身が学ぶ楽しさを体感し、自ら学ぶための能力を身に付けさせることを目的とする。	26年度社会起業アク ション・ラーニング講 座受講生のプロジェク ト（No.12）



年度	No.	区分	プロジェクト名	実施団体	プロジェクトの概要	備考
平成 27 年度	6	プロジェクト支援 制度登録プロジェ クト	子ども料理科学教室	NPO法人市民科学研究室	<p>&lt;解決を目指す地域課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの食育の推進、科学的探究心の涵養</li> <li>・主に出産や育児を理由に退職した女性及び子育てや子どもの教育に関心はあるが、その関わり方を見出せないでいる男性が、地域で働くこと及び地域の中で活動できる場を創出する。</li> </ul> <p>&lt;展開する事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の女性を講師とする、区内の小学生を対象とした、子ども料理科学教室の定期的な開催</li> </ul> <p>&lt;生み出したい成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健やかな子どもの成長及び女性の収入の向上（成果）、地域との有機的なつながりの創出（波及効果）</li> </ul>	
	7		Bーぐる沿線地域のプロモーション組織の設立準備	Bーぐる沿線協議会プロジェクトチーム	Bーぐるの車両やイメージキャラクター等の関連資源を活用した広告や協賛、沿線の多様な主体と連携したイベントの企画運営等、Bーぐる沿線住民の移動を活発にする様々な仕掛けづくりによって、沿線地域の消費拡大とBーぐるの採算性の向上を目指した「沿線地域のプロモーション組織」の設立準備を行う。	
	8		文の京リージョケーション	文の京リージョケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文京区のお店や企業にはいいものや技術が沢山あるが、それを知っている地域住民が少ないのでポータルサイトとネットショップを立上げ活用し、商店街のお店や企業の詳細な情報と商品を詳しく掲載する。</li> <li>・ポータルサイトとネットショップを活用して毎月、商店街の商品でお茶会を開催したり、文京区のお気に入りのお店の情報交換や悩みの相談ができる地域のコミュニケーションの場をつくるイベントを開催する。</li> <li>・ネットショップ運営者を募集しサポートを行い、自立できるように育成して有料SEO対策セミナーにて売上upを目指してもらう。</li> <li>・お店と企業、企業と企業をつなげて新しい文京区ブランドのものづくりも行う。</li> </ul>	26年度社会起業アクション・ラーニング講座受講生のプロジェクト（No.16）
	9		文京区の子どもから発信して、地域をつなぐきっかけを作るフリーペーパープロジェクト	うふ・ふ	文京区に住んで4年。3年前子どもが生まれたことをきっかけに地域に目を向けるも、近隣の方の名前や顔が分からないことに不安を感じる。気軽に付き合えるご近所仲間を作ろうと、2年半前に子育てサークルを設立。300名以上の親子、学生が参加している。多くの方が繋がりを求めているのを感じている一方、新住民と旧住民の関わりの難しさを実感した。私の活動は子どもを主役に行っているが、周りを見渡すと大人主体のものばかりが目につく。そこで子ども主体の編集チームを作り、大人たちとフリーペーパーを共同で作成したり、企業や商店、区議などを取材する中で、子ども目線での問題発見や、多世代が繋がるきっかけを作っていく。	
	10	社会起業アクション・ラーニング講座受講生のプロジェクト (事業プラン構築中)	医療費節約 c a f é		医療費について考えてみませんか？	
11		学生や若者の「やりたいこと」をみつける事業		学生の就活支援		

年度	No.	区分	プロジェクト名	実施団体	プロジェクトの概要	備考
平成 27 年度	12	社会起業アクション・ラーニング講座受講生のプロジェクト (事業プラン構築中)	健康古民家 かのう		「心と体の健康づくり」を目的として、「古民家を活用した多目的コミュニティスペース貸し」を行う新事業を開始する。	
	13		産官学連携プロジェクトベースラーニング		「学生と社会をつなぐ教育」を目的として、「社会人参加型 産官学連携プロジェクトベースラーニング」を行う新事業を開始する。	
	14		シニア・インクルーシブデザイン：C65カウンシル		「高齢者の認知症予防」を目的とした、高齢者の「アート&デザインのWebサイト」および「クリエイター就労支援」の社会貢献事業を開始する。	
	15		障がい者のための旅行型研修プログラム		障がい者と健常者が当たり前のように共生する社会を目的として、視覚障害のある高校生のための旅行型研修を行う新事業を開始する。	
	16		ちいさな町をもっと楽しくするメディアrojiroji		「谷根千エリアの活性・小さな町コミュニティの創成」を目的として、「情報発信、イベント、物販」を行う新事業を開始する。	
	17		町会活動電子支援事業		「住む人、働く人、公共、企業の互助」を目的として、「町会がより効果的に機能するための情報提供・共有の支援」を行う新事業を開始する。	
	18		文の京 アートde わくwork Laboratory@本郷（菊坂もりたて計画中）		本郷・菊坂の古い街並みを守り、それを活かして高齢者も若者もともに心地よく、味わい深く暮らせる街作りを目指す（アートの力で）。	
	19		文京区再発見「文の京エキスパート検定」		「文京区を再発見」し、それを「地域振興」や「地域課題の解決」に役立てることを目的として、『文の京エキスパート』を養成するための講座、検定試験を行う新事業を開始する。	
	20		文京ベビ・ナビ		「保育を現在必要としている、或いは必要とするであろう女性が、多様な働き方に合う保育先を効率的に見つけることができること」を目的として、「保育情報と子育て情報をホームページ上で提供」する新事業を開始する。	
21	やってみよう！はじめてのアート		「日常生活の質の向上とさまざまな人とのコミュニケーションの発展・増加」を目的として、「ひらけゴマ！！こんなんできたよ！！」を行う新事業を開始する。			

年度	No.	区分	プロジェクト名	実施団体	プロジェクトの概要	備考
平成 27 年度	22	社会起業アクション・ラーニング講座受講生のプロジェクト	夜もおもてなし東京		「夜もおもてなし東京」は「訪日観光客がより東京観光を楽しめむためのまちづくり」を目的として、「訪日観光客向け情報提供や観光ガイド、民泊の斡旋」を行う新事業を開始する。	
		(事業プラン構築中)				